

ご協力ありがとうございます！

(敬称略)



【2月の新入会】

大橋あやこ (センター)
和久田日出夫 (熊本県推進協議会)

【2月の寄付金】

(株)堀内組、(株)スエオカ、(株)白浜工業、
協和機電工業(株)、中村造園(株)、(株)十八銀行
(株)大分銀行、大野整骨院、(株)ふくや
三宗貿易合同会社

【2月の寄付品】

鶴田喜代子、馬場雄治、中村治)、田中朝子
(株)清庵、サクラ・チョードリー(四国 OB)
末延啓二、芦田奈々、小野隆、小杉裕一郎
シャムプラサッド(西日本 OB)、さいき様

3月号の予定

- 2日 脇山ソフトボール大会 & お別れ会
体験農園開始式
- 5日 研修生上京 オイスカ高校 & 専門学校
月光天文台訪問
- 6日 アクションプラン発表会
首都圏支部懇親会
- 7日 和泉学園交流会
東京都議会議員連盟懇親会
佐賀県推進協議会幹事会
- 8日 MUFG 修了式
- 9日 MUFG 交流会
朝倉推進協議会役員会
研修生帰国(~11日)
- 10日 グリーンウェイブ朝倉水源の森創り
- 11日 インドネシア新技能実習生 4名入所
- 13日 脇山料理教室
- 17日 グリーンウェイブ朝倉水源の森創り予備日

まるごと!西日本

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322
E-mail: oiscontc@oisca.org 検索 **オイスカ西日本**

第 665 号
平成 31 年 3 月号付録



←Facebook と Instagram に日頃の様子を更新中!
是非チェックお願いします!



平成 30 年度 オイスカ海外研修生研修修了式 & 懇親会

2月23日、穏やかな早春の日に本年度の研修生、10ヶ国1地域、17名の修了式を執り行いました。当日は多くの来賓・参加者を含め170余名が修了式に立ち会っていただき、4月の来日時とは違い、自信を持った顔つきの研修生達。一人ひとりに中野理事長より修了証を授与されました。式典ではボランティアの方より女性は和服を着せて頂き、一気に美人ぞろいとなり、晴れやかな式典となりましたが、メキシコのマリアが研修生代表で謝辞を述べると、研修生を始め、参加者の皆さんもハンカチを手に握りしめ、彼女のスピーチに感動しました。懇親会では、最後の舞台として、研修生の歌、踊りが披露され、1年の思い出をスライド、放映しました。あっという間の1年足らずですが、彼らも含め、皆さんの心にも多くの思い出が残っていくことでしょう。彼らが語ってくれた帰国後の夢が、夢ではなく実現するように応援よろしくお願いします。(廣瀬所長)

鬼木大明神 今月の一句

他人の短所を責めてはならない!
そして、自分の欠点を許してはならない!
愛すれば愛される。
憎めば遠ざけられる。
あらゆる人々を愛し、抱擁する人に
憎悪を向ける者は、ひとりもない。
愛だ!! 抱擁だ!!

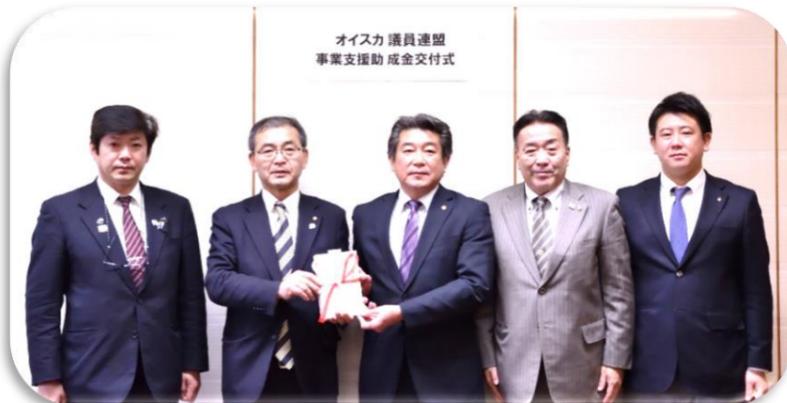
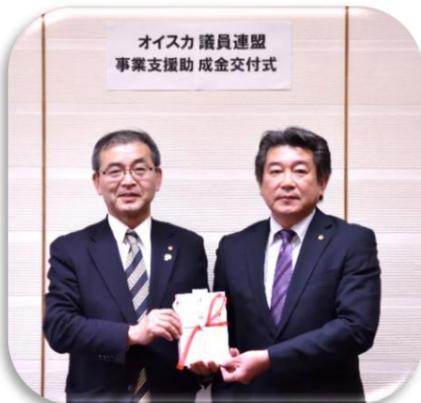


西日本研修センターでの活動を終えて
国際ボランティアの加賀瀬です。早いもので、西日本センターに来てから2ヶ月が経ちました。たくさんの研修生たちとともに、農業をしたり、いろいろな場所を訪れたり、とても楽しく充実した2ヶ月間でした。彼らの修了式に参加できたことも良い思い出です。国際ボランティアも残すところあと1ヶ月を切りました。3月は東京本部での活動です。最後までがんばります。短い期間でしたが、どうもありがとうございました。



オイスカ国際活動促進福岡県議会議員連盟寄付贈呈式

2月12日、今年度も県議会議員連盟(会員70名)より30万円の寄付を頂きました。今年度は、議員連盟11名の皆さままでパプアニューギニアへオイスカ現場視察に赴いていただき、OB達の活躍と現地への貢献をしっかりとご覧頂きました。今年度のご寄付も、今後來日する研修生の為に有効に活用させていただきます。何よりも議員連盟の皆さまのオイスカ活動に対する熱い想いを研修生にも伝えました。アジアの玄関口と言われる福岡県、今後益々のご支援に対し感謝致します。ありがとうございました。(廣瀬所長)



研修生代表のマリアさんがスピーチの様子

ちゃつきり節を踊っている女性チーム



かわちぶしを踊っている男性チーム



終了証を受ける様子



懇親会でスピーチをしたインタンさんの様子



揚げば尊しを歌っている研修生達



(株)九電工 ワンコイン贈呈式

2月8日、(株)九電工より研修生育成のためにワンコインサポートプログラムでの寄付を頂きました。全国の各事業所にお声かけいただき、3000名を超す皆さまよりご協力とオイスカ活動を理解頂きました。当日は恒松総務部長にお越しいただき、研修生の帰国後の活動予定も聞いていただき、海外でも事業展開をされている九電工様としても研修生達の今後の活躍に強い期待を抱いて頂きました。ご協力頂きました社員の皆さま、ありがとうございました。(廣瀬所長)



熊本草刈り・農業ボランティア

今年の研修生にとっては、最後の熊本震災復興ボランティア活動となりました。今回は、震災後耕作放棄地となっ



てしま草も伸び放題になった場所の草刈りをしました。地元の方々と一緒に行いましたが、その日の活動として予定していた場所もあっという間に終え、近くの共有地と地元の方の農地と水路周辺の草刈りも行いました。農業ボランティアでは、女性研修生たちでサトイモの収穫を手伝いました。普段はご家族で少しずつ収穫されているところをこの日は軽トラいっぱい収穫し喜ばれていました。少しずつでも復興に向けてのお手伝いをさせてもらい地元の方が少しずつ元気になっていく様子が伺えて研修生たちにとっても励みになりました。活動が少しずつ限られてきますが、今後も何らかのお手伝いをしていきたいと思えます。(彦坂課長)

サトイモを持っているアマさん

第11回 We Love オイスカゴルフコンペ

2月16日(土)、伊都ゴルフ倶楽部にて毎年恒例の「第11回 We Love オイスカゴルフコンペ」が開催されました。前日の雨が心配でしたが曇天模様の寒くて風の強い中、67名の参加者で実施されました。

毎年参加される方、企業でお仲間を集めてご参加いただける方、初参加の方など同じ組で楽しく会話をされながらプレーをされました。

スタートホールでは研修生との集合写真、途中ではチャリティホールもありました。プレー後のパーティでは、研修生のアクションプランや日本での研修の様子が話されました。

今回の優勝者は(株)ドミックスコーポレーションの出川健太様でした。おめでとうございます。また、今回いただきましたチャリティは12万6,000円でした。多くのご協力ありがとうございました。

来年も開催予定ですので、次回のご参加もよろしくお願いいたします。参加者並びに賞品ご提供の皆様、本当にありがとうございました。(安東)

(写真は今回の準優勝者の(株)設備保守センターの井上宗洋様です。)



アテナナの「私に言わせて」



センターの桜の木は蕾がまだありません。3月の月末4月の最初の週に咲くと思います。今年帰国する研修生はセンターの桜が満開になった時を見たことがありません。4つの季節を経験することが出来ました。雪も見ることがありました。雪で遊んだこともありました。しかし、桜だけが満開時に見ることはありません。センターの桜のきれいさを見られないです。でも、帰国をしても、FBがあるからセンターの桜が満開したときに皆に届けます。

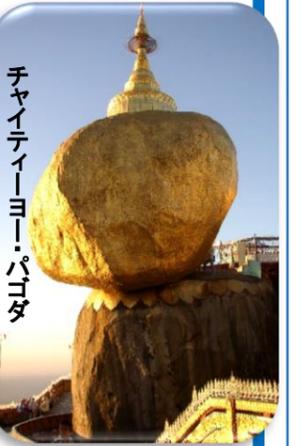
研修生の紹介コーナー ⑦

こんにちは！ミャンマーから来ました。Khin Thandar Htay です。ニックネームは**タンダー**です。30歳です。環境保全型農業技術コースです。日本来る前にミャンマー研修センターで農村開発の仕事をしました。



?? タンダーさんに聞いてみましょう ??

● ミャンマーのおすすめの場所は？ ● ミャンマーは仏教の国ですのでパゴダがたくさんあります。チャイティーヨーパゴダとバガンが有名です。チャイティーヨーは人間の頭の形で一つの大きな岩で作られたです。英語でゴールデンロックと言われます。ミャンマーのモン州にあるパゴダです。高さは9.3メートルです。多くの人々に仏教へ帰依するためのインスピレーションを与えます。信仰上の理由から女性はチャイティーヨーに触れることは許されず、男性のみが触れられます。



チャイティーヨー！パゴダ

● 日本料理で何が1番好きですか？ ● センターの味噌汁とうどんです。

● 日本はどうですか？ ● 素晴らしい国です。お年寄りの方々が仕事熱心です。よく頑張っています。どこでも道がきれいです。

● 日本での目標は何ですか？ ● 残った時間を大切にすることと日本語の能力試験N3を合格することです。

● 好きなこと？ ● お金で買える物と買えない物があります。お金で時計を買う事が出来ますが時間を買うことが出来ません。前の時間に戻れないです。ですから今から時間を大切にすることです。



こんにちは、みなさん！私の名前は Erdenebuyan Ganbold です。ニックネームは**ボーヤン**です。22歳になりました。BBUという専門学校で農業を勉強しました。そして、E. Agronicという会社で2年間働きました。



?? ボーヤンさんに聞いてみましょう ??

● モンゴルのおすすめ料理は？ ● **ポーズ**です。この料理モンゴルでどこの家でも食べられます。特に、モンゴルのお正月(2月)の時です。日本の餃子に見えますが餃子より大きいです。生地の中に牛肉(ミンチ)か羊肉(ミンチ)をつつまます。蒸し器で20ぐらい蒸すと美味しいポーズが出来上がります。そして、熱い内にポーズの中にある汁が美味しいソース無くても美味しいです。モンゴルでは羊肉を使うのもっと美味しいです。



● 日本料理で何が1番好きですか？ ● 肉料理だったら何でも好きです。私の国は海がないのでシーフードが苦手です。

● 日本での目標は何ですか？ ● 盆栽の勉強と黒いニンニクの作り方を勉強したいです。どうして黒いニンニクを勉強したいかというと私の祖母に食べさせたいです。お祖母さんがもっと元気になるように体にいい物を食べさせたいです。



● 好きなこと？ ● 手品が好きです。面白いからです。好きですので私もマスターをして、簡単な手品が出来ます。

オイスカ農産物販売会 in 九州電力

オイスカの農場でとれた新鮮な有機無農薬栽培の野菜を食べていただこうと、2月12日、九州電力本社にて販売会を開催しました。いちご、大根、葉野菜、お米、漬物・・・等

お昼時に大勢の社員の方にお立ち寄りいただきました。当日はインドネシアのオイスカプロジェクトで栽培したコーヒーの試飲をしながら皆さまにお買い物を楽しんで頂きました。販売実習に参加した女性研修生もなかなか良い売り方で、賑やかな販売会となりました。

次回は夏野菜シーズンに開催できればと思います。九州電力の皆さま、ありがとうございました。(廣瀬所長)



田隈人權のまちづくり館料理交流会

2月9日(土)、田隈人權のまちづくり館で料理交流会が行われました。毎年この時期に実施し3回目の開催です。研修生のマリアが先生を務め、今回はメキシコ料理を作りました。

参加者は12名で過去に参加された方も含まれていました。今回の料理は、タコスとアステカスープとアッロズコンレチェ(お米のデザート)の3品です。手際よく作業を進め、国の紹介をしながら試食をしました。

配布されたアンケートには、「おいしかった」や「家で作るの大変」という意見もありましたし、マリアへの激励の言葉もいただきました。

参加された皆様ありがとうございました。次回も違う国の料理交流会を実施する予定ですのでご参加いただければと思います。(安東)



オイスカ中部研修センターOB ボランティア研修生 ロンさん 西日本センターに短期研修

昨年よりオイスカ中部日本研修センターでボランティア研修生として頑張ってきたフィジーOB 研修生ロンさんが、帰国を控えて古巣である西日本研修センターに短期研修のために訪問しました。

ロンさんは2008年の研修生で、フィジー人には珍しくコツコツと真面目に作業に取り組むタイプで、周囲からの評価も高くオイスカフィジーにとっても貴重な人材です。

今回の研修では、他の研修生と一緒に視察に同行したり実習に参加したりしましたが、以前センターでお世話になった先生方に会うことが出来てとても嬉しかったと話してくれました。

ロンさんの今後の活躍に期待したいと思います。(豊田副所長)

熊本草刈りボランティアもしました。



田主丸造園研修をした様子



西日本支部運営委員会ソフトボール交流会

2月2日(土)、西日本支部運営委員会企業の方が研修生とのソフトボール交流会のためセンターに来所されました。昨年は雨のため、開催が中止になりましたので2年越しの開催となりました。

第1試合は運営委員会チームと研修生チームの対戦で4対4の引き分け。第2試合は混合チームで対戦しました。珍プレー続出で楽しくソフトボールの交流ができました。

試合後はBBQをしながらの懇親会。普段は忙しく業務をされている皆さんも研修生と親しく会話をしたり、一緒にダンスをされていました。参加された皆様お疲れ様でした。楽しい思い出をありがとうございました。(安東)



フレンドリーな試合が出来ました！ばんざい！！

アクションプラン発表会

2月18日～19日にかけて、研修生の帰国後のプランについて発表をする「アクションプラン発表会」が開催されました。

昨年の12月から準備を進め、スタッフとのインタビューを2回行いながらプランを練り上げてきましたが、計算が苦手な研修生は、収入と支出の計算に頭を抱えながら奮闘し、パソコンの操作に慣れていない研修生は、他の研修生やスタッフに操作を習いながら一生懸命頑張って作ってきました。

出来栄やプレゼン能力に個人差はありましたが、与えられた15分の時間の中で、どの研修生も自信を持って発表をしてくれました。

今回彼らが発表したアクションプランが、今後どのような形で花を咲かせ実を結ぶのか、これから大いに期待したいと思います。(豊田副所長)

ホギさんがアクションプランを発表している様子



エエルさんが発表している様子



八江農芸見学

2月28日に八江農芸の見学研修に研修生全員とスタッフで行きました。八江農芸は設立されて今年で71年を迎え、オイスカとは30年以上前から関わりがあるそうです。こちらで研修したオイスカのインドネシアOBは母国で種会社を作ったり、チャムルさんのお父さんも研修にきたことがあるそうです。八江農芸では農家の方やお客さんが求める良い種の開発に取り組んでおり、一つの野菜だけで50種類以上の組み合わせを作り、よい種を探すそうです。新しい品種を作るには5～10年ほどかかるそうです。研修生達は野菜をみて色、形、大きさの違いなどを見比べていました。いい種を作り出すのに時間がかかるのと同じように、研修生達のアクションプランの実現にも時間がかかると思います。今回の見学では様々なことに挑戦して失敗を繰り返していけば成功に結び付くということを感じ取ってもらえたのではないかと思います。帰国前にまた新たなことを勉強させてくださってありがとうございました！(園田)



脇山小学校交流会・お別れ会

2月20日、脇山小学校主催の研修生とのお別れ会に参加し、授業見学、各学年に分かれて帰国後のことや日本での思い出について話しました。田植え、運動会、稲刈り、餅つき等々たくさんの行事で関わった脇山小の子ども達。チャムルさんはお礼の挨拶で「畑で作業しているときにオイスカさん！と挨拶してくれたことが一番嬉しかったです。いつも元気をもらいました。私たちのことを忘れないでください。ぜひ私たちの国へ来てみてください。」と話していました。最後に子ども達から研修生一人一人にアルバムをプレゼントしてくれ、写真とメッセージとそれぞれの特徴を掴んだ研修生の似顔絵が描かれておりました。

いよいよお別れの時、子どもたちは研修生が学校を出るまで手を振り続け、お別れするのが名残惜しそうでした。脇山小学校の皆さん、たくさんの思い出をありがとうございました！（園田）

チャムルさんがお礼の挨拶をしている様子



子供達からもらったアルバムを見ている様子



私の恋人(2)

冬になって、外にいて、皆を見守ってくれている私の恋人は寒そうだと思っています。ポンが寒くて、食欲がないらしくて、痩せてしまいました。また、一回、突然にデコが寒くて、震えているのを見て、「それ、ダメだ。絶対、ダメだ。」と思って、プレゼントをあげようと思いました。服を作ってあげたいというアイデアが頭の中に浮かびました。初めて、服を作るのは恋人の服で、楽しんで作りました。メスだから、私のピンクの古い洋服で作りました。不器用な私は初めて作ったので、どうやって一番簡単に作れるか、色々チューブを見て、考えて、作っていました。一回できて、着せてみたいと思って、デコに着せましたが、全然入れませんでした。デコとポンは子供から服を着たことないので、服を頭から着るのができません。直らないといけないということで、固定のボタンを全部崩して、背中を折り返せる形にやり直しました。できて、また着せて、今回は綺麗に着せました。嬉しくて、先生方に言って、皆が見てから、「デコ、ポンがかわいそう。」「服じゃない、エプロンです。」と言ってもらいました。でも、誰が何を言っても、私はデコとポンに合うと思えば、大丈夫です。しかし、作った服は夏の古い服から作ったので、薄くて、まだ寒いと思います。

今度、古い毛布をもらって、また作りたいです。いつか、時間があったら、私の恋人に会いにセンターに来てください。(タン)



恋人2のデコちゃん



恋人1のポンちゃん



3月5日に16名の研修生が退所しました。指導員コース研修生のニコさんと家政研修生のエルさんが残ります。彼ら達が帰国したらセンターはとて静かになります。当日に涙があふれると思います。いい友達になった研修生が離ればなれになって、とても寂しくなります。11ヶ月1つの屋根で、同じご飯を食べて、兄弟になって、そして

はなれてとても難しくなります。残されたエルさんがもっと寂しいと思います。頑張って、エル！



体験農園だより

今年の冬はやはり暖冬で、ラジオでも日本海側の豪雪地帯でも雪が少なく、殆ど雪が積もっていない状態との事。雪解け水が少なくなるため夏場の水田の水が足りなくなるのではと、懸念の声もあがっていると話していました。



センターから佐賀県へ抜ける道中に曲淵ダムがありますが、今までもないようなほど水位が下がり、ダムの底の泥がむき出し状態になっています。

大雨が降るのも大変困りますが、米作りが始まるシーズンまでには何とか水量が確保される事を期待しています。

3月2日から2019年の春夏作が前回同様32組でスタートしました。今年はどうなるのか楽しみです。

(豊田副所長)

短期外部研修報告

2月に入ってから研修生は、帰国前に専門的な知識を勉強するために、1週間ほどの短期外部研修に行きました。研修先は、長崎県諫早市にある種苗会社「八江農芸株式会社」や日田市の酪農家、家政科の先輩研修生は天然酵母で作っているパン屋さんへ行くなど、それぞれの希望に合わせて特別な技術の習得に励みました。

日田市の酪農家に研修に行ったチベット研修生(ダワ)は、「私もふるさとで酪農をやっていますが、日本の大規模の酪農のシステムが勉強できてよかったです」と、喜んで話してくれました。(豊田副所長)



搾乳室でミルクングをしているダワ



119 suka
hippobakery おはようございます。

今日から一週間、「OISCA 公益財団法人オイスカ」から研修生が来ています。名前はインタン。とても覚えやすく呼びやすい、かわいい名前。インドネシア出身で、日本での2年間の勉強を終った国に帰る前の現場研修とゆうことでヒッピーです。



ヒッピーベーカリーの皆さん



九州国立博物館・太宰府天満宮見学

2月27日に、九州国立博物館と太宰府天満宮の見学に行きました。太宰府天満宮は梅の見ごろが少し過ぎてはいましたが、綺麗な梅を見てみんな写真をたくさん撮っていました。そしてセンターの餅とはまた一味違う、梅ヶ枝餅を食べて博物館へ。博物館はセンターに農業ボランティアに来られている堤さんのもう一つのボランティア先ということで、常設展のガイドをしていただきました。日本の昔の暮らしや日本に様々な国の文化が入ってきた様子などを学びました。アジアの国々の文化紹介のコーナーでは楽器や衣装の展示がされており、自分の国のものが展示されている研修生たちは嬉しそうに見ていました。堤さん、ガイドありがとうございました！（園田）



